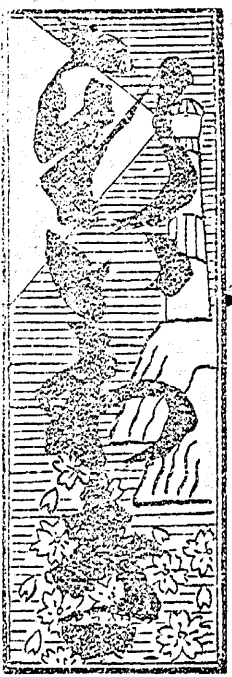


刊夕 日十月一十



今日日曜日 午後二時 常設講座

生命と云ふのは最低 生命線のこと、つまり 健康のことである。例 えば、健康な日本の生命 線は、太平洋に流れている。 我が国にとつて生きている 命線は、太平洋に流れている。 命線が断たれるか、問題である。 と云ふことである。

よる公金濫費の不祥事を唱ひ 得たので組合の活動に精進す べし。組合長理事加藤一造氏外 監事主事十西氏の連名を以て 関係各方面に及びの通知を出 した。 今回不起訴に決し信用復活を した。

土木事務長成績 縣土木課の丹野主事による平 土木監督所の事務監督は去る 八日から九日及び二十日に 行はれたが成績良好の讃辭を 得て了した。

火防役員改選 平町字北目町火防組合では此 の程總會を開き役員改選を行 つたが正副組合長並に部長を 左記に決した。

小名護岸工事 石城郡小名護町宇古護地内海 岸の災害復舊工事は二千圓の 工費で本年八月以來工事中で あつたが此の程竣工昨日縣 土木課の金澤技師出張無事に 検査を終了した。

### 深く我を省みる

### 市制施行の調査

### 平町が調査機關を設けて

平町では市制施行に伴ふ市制 施行の期に先立ち之れが準備 調査の爲め各部門に分つて調 査を設け従來に於ける町是調 査或は資源調査の如く龍頭蛇 尾に終る様なものでなく誤ら ざる諸計画を備へ其の途に 立つべく右の調査部門を

財政 教育 警備衛生 産 業(商工) 土木交通 社會 教化 雜務 等の類に分ち町議各派の代表 及び町内有志から適任を擧げ て理事者の諮詢補助に研究を 練るものゝ如くであるが市制 施行に其の名を冠することの目 的でないことは云ふ迄もなく 町の現状と將來に鑑み先づ以

### 平小鐵道の着工に

### 今日諸資料の申達

### 都市計畫構圖及び生産物資 自動車の旅客に至る迄

平小鐵道の敷設工事を急ぎ明 十年度より着手されることは 既報の如く本省建設局では着 々その準備を進め本格的工事 を開始するの確な資料を調査 蒐集中なので該要求に接した 平町では都市計畫の構圖及び 地方生産物資の質量並に乗合 自動車の平小名鐵線及び平江

### 絞嚙委員の打合

石城郡絞川堰の復舊工事を委員 會は明日午前九時から平 町同組合事務所にて開催工 事進行上に就き協議打合せを なす

名線に於ける運轉時間表に乗 降人員を詳記せるものその他

### 職業紹介の 大運動

### 今日三十名の 街頭宣傳

平町職業紹介所では既報の如 く今日十日の紹介に於ける大 他に關し緊急協議をなすと

### 出たて貯藏初米

### 共販に八二六俵

### 見込相場十一圓三、四十錢

石城郡波瀾の米共同販賣は 在米源の爲め定期入札に數回 の出荷を續けてゐたが明日 十一日定期共販を日躍の爲め 十二日に繰延べた當日の出荷 は大分分解除の措置に出され 八百二十六俵に上る近頃にな り盛況を見せるので既報に 非常な前入米を呈してゐるが 十月中の地方移入米が政府拂 下げの特種米があつたので 實に一万俵に上り大阪米の 到着も明日と云はれてゐる

### 江名の販購組合

### 漸く信用復活

### 公金不實記載不起訴となる

石城郡江名町保證責任信用販 賣組合は帳簿不實記載に

關係各方面に及びの通知

岩城太平記

八帆入橋の架換え え 泉村地内藤原川の改修

### 八帆入橋の架換え

### 泉村地内藤原川の改修

石城郡泉村の下川地内藤原川 の改修に伴ふ河川擴張による 約三反歩の稲苗代償地は地主 の承諾を以て小名護町土木 監督所長と同村長上野野新 重郎氏等交渉に努力されてゐ たが今回換地を見出されて無 事解決したので近く決定の工 事を施行の筈であるが同問題 解決と同時に豫て懸案となつ てゐた同地八帆入橋外一橋 の架換えをなすことになつ たが橋梁費は約七千圓を要す るものゝ如くである

### 高橋架換

### 工費約一萬圓

石城郡波瀾村地内國道高 橋は貧弱な上に腐朽甚だしく 架け換工施行の設計中であ つたが明日午前十一時地 價祭を執行直ちに着工の筈で

### 岩城太平記

### (5) 是れ下野殿の不運にして次

男藤丸三男彌重殿京部へ御上 り成され候へば藤丸殿は幼少 にして大蔵を次男と申上げて 左京の家を譲るべしと族が悦 びかざりなまきあり族之助申 は此度左京殿の御代繼と家中 へこそは願はれり、こゝに 下野殿附淺賀竹右門と申者 此處を聞よりも無念骨髄に徹

### 土木事務長成績

### 火防役員改選

### 小名護岸工事

### 入警兵の送別

石城郡平江村では来る十六日 午後三時同村本年の入警兵十 三名のため送別會を開催小堀 校長安庫に参拜の後講堂に於 て粗宴をなす

### 家出人解らず

### 叱責を苦にした女

東京市江戸川區通井一の一五 大内橋(橋三)本縣安達郡上川 村水崎七平藏二女安達ゆ き(三三)は自分の嫁から來 てゐる小僧が天機術に叱責さ れたのを苦にして去月十六日 無断家出し石城地方に足をと けた形跡あるので平書の捜査 中であつたが立入りたる模様 がないと

### 軍志願兵募集

### 豫定に満たぬ海

平町の海軍志願兵募集の締切 日は十月末日を以て終了したが 監察人員僅かに十七名の淋し さで非常時局に應はしからぬ 数字を示したことは既報の如 くであるが此の傾向は單に平 町にとどまらず郡内各町村は 勿論縣下を通じて非常に少 なく本縣の割當千七百八十名 である

# 農業の

## 農作今後の 対策に就て

（一） 繰返試本場丁主

今年の水害状況と部分的に観察するときはその出穂は十年と大差がないともあるし、又二週前後はそれ以上も遅延してゐるものがあるが、感じとして約一週前後の出穂が遅延してゐるものがある、出穂が遅延すれば成熟もそれ相應に遅れ、落水期も普通より遅し、落水から葉の成長は遅し、又刈取期が遅れること及び落水期が遅延による上葉各水の不良から二毛作にも亦支障を生ずることと思ふ、二毛作の作付遅延は又翌年の水害作付に影響して来る、斯くして今年の冷害天候下の水害の生育遅延は二毛作に對する農家の熱を削ぎ後作を遅延へらざるを得ない、多分に此の如き思はれる、平年の時でさへ水害の作付期が遅延を氣にして二毛作の作付を見合はす趣きを見受けることろであるから、今年の様な状態では水害作第一主義で其作を此際見合はすと云ふことは無理のないことである、然し何等の研究も自信もなくして唯突然とした一應の消極的恐怖心から此の冬を準備に置いてと云ふことは天變不利なことである、少し後作後作物の作付關係が不詳と異状的であるからと云つて、萎縮速延してゐては、更には進歩もなくそこに自力更生の何ものをも見出し得ないだらう、兎角農業は自然を相手とする謂はば消極的な仕方がであるためか知

らぬが、その環境に永い間晴ねまれた吾々農業者が至つて消極的に出来上つてゐるので積極的な研究とか新智識の應用とか、近代科學の實用化とか云ふ方面に進んで行くと云ふ意氣は大いに缺乏してゐると思ふ、

### 若人向、紳士向 冬の中折帽子とネクタイ

- ・ 特選優等ソフト ¥2.00
- ・ ソフトフワ ¥5.50
- ・ セラファイツク帽 ¥6.00

ツルヤ 電一四〇

## お醤油は ヤマフル

醤油味贈  
たひら正宗  
總節食料品

山崎合名會社

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

電話一營業部二一〇番

### 牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三三屋 平町 田町

用命は

耳鼻咽喉科専門 醫學士 鈴木正男

入院應需 鈴木醫院

平町田町(電話五八番)藤田女學校前

油問屋 關内油店 特約販賣

支店 平町田町(電話三二八番) 支店 三友成(電話三三三番) 支店 三友成(電話三三三番) 支店 三友成(電話三三三番)

### 内科、小兒科 大森醫院

醫學士 大森勇

平町南町 電話二五八番

カソリン  
セチール油  
石油株式会社

### 自家醤油製造

諸原料(麹、豆、水)大勉強

特約販賣 山野邊藥局

平町五丁目

### 河田鐵工場 磐城代理店

河田梅吉

營業所 福島縣平町七丁目 電話二九五番

本支店 東京市日本橋通り三丁目 電話三三三番

仙臺支店 仙臺市大町三丁目

### 婦人科 長木村寅次郎

外科 醫學博士 内木宗八

藥局 藥劑師 立審彌一

平町新川町九一

入院隨應 木村病院

病室完備

電話一六四番

### 新設、電話二二二番

何卒御利用の程を

平町紺屋町一一

上原政婦會

(産婆) 上原通子

### 貨物自動車の御用命

製造販賣 金城國産

一俵 參拾錢

（大量取引は特に割引あり）

平町南町

淋病最新藥 美神淋藥

二週分 八、〇〇〇

平町店

山野邊藥局

新規物を 格安にお 譲も致します

平町大町若松醫院

債券 公債 兩替 金融

多田井質店

平町大工町 電話五九一番

### 安價で効果的な 天然加里肥

最も適應する作物!

蔬菜 馬鈴薯 里芋 じゃがいも

（蔬菜類ではトマト、茄子の如き比較的のちに肥料に對しては、肥料の抵抗力を與へる働きが大きい）

天然加里肥は酸性でないから如何に施用しても土壌を悪化させる虞は絶對にありません